



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

山梨県 富士吉田市立富士見台中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和5年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2023年4月～2024年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

## 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす  
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



## 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた  
オリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



## 1コマ目

## 運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

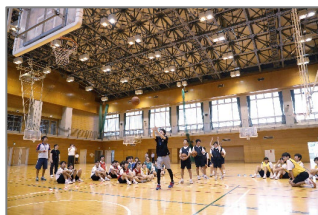
まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

## 2コマ目

## 座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

### ●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■ **オリンピック**：宮澤 崇史 先生（自転車／ロード）【出場オリンピック／北京2008大会】

■ **期 日**：2023年7月12日(水)

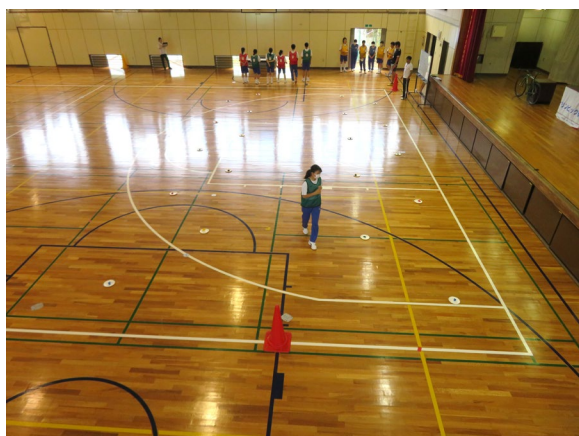
■ **ク ラ ス**：2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・自転車／ロード競技で北京2008大会に出場し、2015年に引退したと自己紹介。オリンピックバリューの3つの価値は、アスリートだけではなく、皆の日常生活にも関わっている。エクセレンスはスポーツ等に真剣に取り組む姿勢、フレンドシップは世界中の人々や文化を含めてスポーツで交流すること、リスペクトは相手に対して尊敬の気持ちを持つことの意味を表す。運動の時間は、何事にも真剣に取り組む、協力し、周囲の人に尊敬の気持ちを持ちながら取り組んでほしい。

○主運動等



・準備運動は「じゃんけん勝ち抜け」を実施(全3回)。4箇所のポイント毎にじゃんけんをし、勝ったら次のポイントに進み、負けたら最初のポイントに戻る。40秒以内にゴールに到達できた人数を競う。3回目はじゃんけん負けたら次に進めるルールに変更。  
 ・主運動は「記憶力競争リレー」を実施(全2回)。4班2チームに分かれ、ハチマキをランダムに置くチームと、ハチマキがどこに置いてあるかを記憶するチームを決める。リレー後に記憶した内容を紙に書き、答え合わせをして正解の数を競う。



・運動の時間を振り返り、記憶力競争リレーの複雑なルールを理解して楽しく参加する姿勢が見られ、チームで話し合い、作戦を立て、それぞれの持つ特技や役割を活かして取り組んでいた。座学の時間では、どのようなことを考えて作戦を立てたのか等、運動の時間に感じたことも踏まえながら、オリンピックバリューが皆の日常生活にどのように関係しているのか、皆で考える時間にしたいと伝え、授業終了。

■オリンピック：宮澤 崇史 先生（自転車／ロード）【出場オリンピック／北京2008大会】

■期 日：2023年7月12日(水)

■ク ラ ス：2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・映像を見せながら、自転車／ロード競技で北京2008大会に出場したと自己紹介。夢の舞台であるツール・ド・フランスに憧れ、中学2年生の時に自転車競技の選手になりたいと決意した。ロードレースは、チームメイトと助け合いながら走行し、順位を競う競技である。母の病気の治療のため、自分の臓器を提供し、もう競技には復帰できないと考えていたが、どうしても諦めることができず、練習を続け、努力を積み重ねたお陰でオリンピックに出場することができた。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動の時間を振り返り、何を意識したか考えてみよう。

発表：エクセレンス：「無謀に挑むよりもきちんと作戦を立てた」「挑戦しなければ成功しない」等

フレンドシップ：「自分のところだけ覚えていないで他の人のことも考えた」「チーム内で声を掛けた」等

リスペクト：「チームメイトのことも考えながら取り組んだ」等



・座学の時間を振り返り、個人ワークでは、きちんと自分の意見を書き出し、グループワークでは、それぞれで考えた意見をまとめ、しっかりと発表できていた。来年にはパリ2024大会が開催されるので、オリンピックバリューの3つの価値を思い出しながら、ただ競技を見るだけではなく、オリンピック選手の卓越された技術や、スポーツの奥深さを考えながら楽しんでほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年1組



■記念品贈呈

・2年1組



■修了証贈呈

